

お客様訪問

〜蜂っ子が繋ぐ健康の輪〜

よく「年齢不詳」って言われるんです(笑)

都内で主に洋酒の卸を手掛けているロイヤルリカー株式会社。

1988年に同社の社長に就任した高橋愛朗さんは、国際ロータリークラブの役員としても多忙な毎日を送っています。

「この商売はもともと父が始めました。アルコール類の輸入が自由化になった1971年の創業で、父が46歳の時でした。洋酒の販売はそれまで輸入量の枠が決められていて、外資系の会社が大きなシェアを占めていましたから、うちのような個人経営は少なかつたようです。そういった中で父は単身スコットランドに渡り、メーカーに直談判をして『オールドパー』の輸入権を獲得しました。」

ウイスキー好きなら誰でも知っている「オールドパー」。その高級イメージ

を日本に定着させたのが高橋さんのお父さんでした。

「当時はたいへんな苦労があったようです。特に父は、輸入を手掛けているのに英語が苦手でした(笑)。

また欧米での付き合いに欠かせない社交ダンスも踊れない。そして何といつてもお酒が飲めなかつたんです(笑)。だから我が社の社員教育では『英語、社交ダンス、そしてお酒が飲めること』ということが徹底されてきました。私もおかげでずいぶんとお酒が強くなりました(笑)。」

大学では音響工学を専攻し、さらに専門知識を深めるためドイツへ留学。その後渡ったスコットランドで家業を継ぐきっかけとなる出来事があったそうです。

東京・渋谷区で洋酒の卸会社やコンビニエンスストアの経営を手掛ける傍ら、スコットランドとの親善活動など幅広い分野で活躍をしている高橋愛朗さん。
日々エネルギーに活動をこなすための「元氣と健康の秘訣」を伺いました。

東京都渋谷区・高橋 愛朗さん



表参道の並木通りで取材にご協力いただきました

「現地の先輩たちが、お父さんが作ってくれた土台をどうして無駄にするのか?と不思議そうに訊くんですよ。ヨーロッパは歴史を重んじる場所ですから、代々家業を続けていくことにとても大きな価値があるんですね。彼らと接しているうちにだんだんとその気になってしまつて(笑)。」

こうして家業への就職を決断した高橋さんは1980年に帰国。輸入

部門、営業部門を経て、再び取引先のあるスコットランドへ赴任することになりました。

「結婚したのもちょうどこの頃です。一人目の子供はスコットランドで生まれました。会社では現地に日本レストランをオープンさせたり、旅行代理店を開業させたりと休みも満足にとれないような毎日でしたが、公私ともにとても充実していましたね。」

帰国後はスコットランドとの親善を深める活動を行いながら、事業領域拡大のためコンビニエンスストアの経営にも携わり、現在は都内にも店舗を運営しています。

「おかげでここ数年は本当に『早寝早起き』になりました(笑)。ただやはり忙しさが続くと、以前のように無理がきかなくなっていました。特に朝の起きがけや日中の眠気はとても辛かったです。そんな時に私が通っている異業種交流会で評判になっていたエヌ・ピュアさんの『蜂っ子』に出会いました。」



「これはいい!!」と直感した、という高橋さん。食生活や運動など、生活習慣全般に気をつけることが、人並み以上の健康を保ち続けている秘訣のようです。

「おかげ様で、最近よく『年齢不詳』って言われるんですよ(笑)。」



ゴルフ場で撮影した10年前と現在の高橋さん。(左が10年前の写真です)年齢不詳と言われるのがわかりますね

ご飯は玄米にして、麦や雑穀を混ぜています。エヌ・ピュアさんの『ダッタンそば茶』も一緒に炊くと、香りがとても良くていつそう食欲が湧いてきますね。他にもエスカレーターより階段を使ったり、なるべく歩く習慣をつけることで健康を意識するようになっています。」

心身ともに充実した毎日は、高い志を掲げるうえでも必要不可欠な要素。「創業以来の理念を持って、益々社会貢献に努めたい」と高橋さんはおっしゃいます。



高橋さんが都内で6店舗経営しているコンビニエンスストア「ローソン」。いつも店内に活気がみなぎっているのは、高橋さんの元気のおかげ!!

「良きものに学び良きものだけをお届けする、というのが私どもの理念です。メインで扱っているワインは人工的なものではなく天然のもの。自然そのままの商品だからこそ学ぶべき点がたくさんあります。本物だけをお届けすることで、各家庭の食生活・食文化を豊かにすることに、これからも貢献していきたいと思えます。」

家庭の原点である「食」は生命の原点でもある、とおっしゃる高橋さん。これからも益々のご健康とご活躍を、心よりお祈りしております。

高橋さんご愛用の商品



愛飲歴 3年

ミツバチからの贈り物
蜂っ子



愛飲歴 3年

ダッタンそば茶

●「蜂っ子」の詳細い説明は22～35ページをご覧ください。